

授業科目	家族心理学演習				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	WE31418J		
開講年次	4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2			
担当教員	水貝 洵子							
授業概要	<p>現代の家族の抱える課題や特徴を社会学的視点、発達心理学的視点、臨床心理学的視点から捉え、家族に対する多面的な理解を得ることを目的とする。</p> <p>テキストや文献をもとにディスカッションを行い、さまざまな発達段階にある家族に関する理解を深めていく。</p> <p>さらに、ロールプレイをはじめとするグループワークを通し、体験的な気づきを得ながら、家族の支援の在り方について学びを深めていく。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>①わが国の家族の変化についてや、現代の家族のおかれた社会的状況を適切に理解し、説明することが出来る。</p> <p>②システム論に基づく家族への理解を深め、システム論について説明することが出来る。</p> <p>③家族の各発達段階における課題や特徴について理解し、個々の問題への支援方法について検討できる。</p> <p>④家族の問題解決を家族と共に進めることが出来るような基本的な態度とスキルを獲得する。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	40	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			25	15			40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			25	15			40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5	5			10	
関心・意欲 (DP3-2)			5	5			10	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>現代の家族のおかれた状況や、家族が抱える課題について、適切に説明することが出来る。</p> <p>文献を通じた理解と、これまでの経験やロールプレイなどの体験的な気づきとを結び付け、より家族当事者の体験や気持ち的な理解を得ることが出来る。</p> <p>これまで関わってきた事例や、社会で注目されている家族に関する問題について、家族心理学の視点から考察し、有効な支援の在り方や今後の課題について考察することが出来る。</p>				<p>現代の家族のおかれた状況や、家族が抱える課題について、適切に説明することが出来る。</p> <p>文献を通じた理解から、これまでの経験やロールプレイなどの体験的な気づきと結び付け、より家族当事者の体験や気持ち的な理解を得ることが出来る。</p> <p>家族支援の在り方について、家族心理学的な視点を今後の実践の参考にすることが出来る。</p>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション: 本授業のオリエンテーションを行い、発表分担決めを行う。 また、小レポートで、家族における課題や現代的な問題において、どんなことに関心があるのか記述し、提出してもらう。	グループワーク 小レポート	なし	0
2	テーマ:家族療法について① 家族療法における家族の問題の捉え方や考え方について解説を行う。家族療法的な視点から家族の問題を考える演習を行う。	講義 グループワーク	該当箇所の復習	30
3	テーマ:家族療法について② 家族療法において用いられる技法を紹介し説明を行う。グループワークでは実際に技法を用いたロールプレイを行う。	講義 グループワーク ロールプレイ	該当箇所の復習	30
4	テーマ:家族の発達 若い成人期 テキスト第3章について、担当者は発表レジュメにまとめて発表を行い、発表者によって提示された議題をもとに全員でディスカッションを行う。	グループワーク ディスカッション	自分の分担箇所は、とくにじっくり読み、簡潔に説明する資料を作成する。 資料作成にあたっては、かならず、グループで話し合う議題を設定すること。	120
5	テーマ:家族の発達 結婚による家族の成立 テキスト第4章について、担当者は発表レジュメにまとめて発表を行い、発表者によって提示された議題をもとに全員でディスカッションを行う。	グループワーク ディスカッション	自分の分担箇所は、とくにじっくり読み、簡潔に説明する資料を作成する。 資料作成にあたっては、かならず、グループで話し合う議題を設定すること。	120
6	テーマ:家族の発達 乳幼児を育てる段階 テキスト第5章について、担当者は発表レジュメにまとめて発表を行い、発表者によって提示された議題をもとに全員でディスカッションを行う。	グループワーク ディスカッション	自分の分担箇所は、とくにじっくり読み、簡潔に説明する資料を作成する。 資料作成にあたっては、かならず、グループで話し合う議題を設定すること。	120
7	テーマ:家族の発達 小学生の子どもとその家族 テキスト第6章について、担当者は発表レジュメにまとめて発表を行い、発表者によって提示された議題をもとに全員でディスカッションを行う。	グループワーク ディスカッション	自分の分担箇所は、とくにじっくり読み、簡潔に説明する資料を作成する。 資料作成にあたっては、かならず、グループで話し合う議題を設定すること。	120
8	テーマ:家族の発達 若年世代とその家族 テキスト第7章について、担当者は発表レジュメにまとめて発表を行い、発表者によって提示された議題をもとに全員でディスカッションを行う。	グループワーク ディスカッション	自分の分担箇所は、とくにじっくり読み、簡潔に説明する資料を作成する。 資料作成にあたっては、かならず、グループで話し合う議題を設定すること。	120
9	テーマ:家族の発達 老年期の家族 テキスト第8章について、担当者は発表レジュメにまとめて発表を行い、発表者によって提示された議題をもとに全員でディスカッションを行う。	グループワーク ディスカッション	自分の分担箇所は、とくにじっくり読み、簡潔に説明する資料を作成する。 資料作成にあたっては、かならず、グループで話し合う議題を設定すること。	120

10	テーマ:家族における臨床的問題 夫婦関係を支援する テキスト第10章や配布プリントの検討を行い、夫婦関係においてみられる臨床的問題について理解する。また、ロールプレイを通し、家族に関する体験的な理解を得るとともに、その支援方法について探る。	グループワーク ディスカッション ロールプレイ	テキストの該当箇所や事前に配布する資料を読み予習しておくこと。	60
11	テーマ:家族における臨床的問題 乳幼児の子育ての問題と援助 テキスト第11章や配布プリントの検討を行い、子育てにおいてみられる臨床的問題について理解する。また、ロールプレイを通し、家族に関する体験的な理解を得るとともに、その支援方法について探る。	グループワーク ディスカッション ロールプレイ	テキストの該当箇所や事前に配布する資料を読み予習しておくこと。	60
12	テーマ:家族における臨床的問題 思春期の子育ての問題と援助 配布プリントの検討を行い、思春期の子育てにおいてみられる臨床的問題について理解する。また、ロールプレイを通し、家族に関する体験的な理解を得るとともに、その支援方法について探る。	グループワーク ディスカッション ロールプレイ	テキストの該当箇所や事前に配布する資料を読み予習しておくこと。	60
13	テーマ:家族における臨床的問題 高齢家族の問題と援助 配布プリントの検討を行い、高齢家族においてみられる臨床的問題について理解する。また、ロールプレイを通し、家族に関する体験的な理解を得るとともに、その支援方法について探る。	グループワーク ディスカッション ロールプレイ	テキストの該当箇所や事前に配布する資料を読み予習しておくこと。	60
14	テーマ:家族における臨床的問題に対する理解 家族のアセスメント 家族のアセスメント方法について紹介、解説を行う。実際にアセスメント方法を用い、家族の臨床的問題について見立てていくワークを行う。	講義 グループワーク	テキストの該当箇所や事前に配布する資料を読み予習しておくこと。	60
15	まとめ: 本講義を振り返り、文献やディスカッション、ロールプレイを通し得られた気づきや考えについて振り返りを行う。	グループワーク ディスカッション	なし	0
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				

28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	社会福祉学の基礎科目を履修していること。			
テキスト	『家族心理学 家族システムの発達と臨床的援助』 中釜洋子・野末武義・布柴靖枝・無藤清子(著) 有斐閣ブックス			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「発達家族心理学を拓く 家族と社会と個人をつなぐ視座」 柏木恵子(監修)塘利枝子・福島朋子・永久ひさ子・大野祥子(編) ナカニシヤ出版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>家族に関する文献やニュースなどに関心をもって接するようにし、これまでに会った事例を思い浮かべておく、授業内容に活かされる。</p> <p>体験的な学びや気づきを大切にするため、ロールプレイなどに参加することを念頭におき受講すること。ロールプレイ、ディスカッションにおいては積極的な参加が求められる。</p>			
達成度評価に関するコメント	発表分担やレポートに関しては授業の中で指示する。			